学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

埼玉ＣＳＣ交流会・役員選出
新代表に　嶋﨑洋明氏

去る4月13日、各サークルの代表者が集まり、埼玉ＣＳＣ交流会代表者会議が開催された。

この会議では、24年度フェスタ収支報告、及び新年度役員選出など協議がおこなわれた。また、第7回フェスタを10月12日、13日の2日間開催することが決定した。

岡部学長の公開講演会

平成25年度活動計画については、10月13日（日）午後2時～公開講演会を放送大学岡部洋一学長に依頼することが協議され決定された。

役員選出

新年度の役員選出では代表に嶋﨑洋明（未来の会）、副代表に野呂生男（サークルおおみや）・高山和彦（放送大学熟年会）・森岡加代（放送大学埼玉同窓会）、会計に松井喜義（健康体操研究会）・古賀民義（放送大学ソシアルダンスクラブ）、会計監査に相川智子（朗読の会「こころ」）、事務局長に篠田安彦（江戸時代の古文書を読む会）、相談役に笹原誠二（放送大学埼玉同窓会）、学生新聞編集長に若松　豊（熟年会、放送大学埼玉同窓会）の諸氏を選出した。

埼玉ＣＳＣ交流会は、学習センターを楽しく、活気ある学びの場とするため、学生サークル、同窓会、学習センターの三者により結成された団体です。

挨拶
埼玉ＣＳＣ交流会
代表　嶋﨑洋明

この度25年度埼玉ＣＳＣ交流会代表に就任致しました嶋﨑洋明（未来の会）です。前任の岡里代表の事業方針を継続し更なる発展に寄与すべく全力を傾注する所存です。

ＣＳＣ交流会の事業として「埼玉フェスタの開催」と「学生新聞の発行」を継続してまいります。

「第7回埼玉フェスタ」の開催も10月12日（土）13日（日）に決定し、13日には放送大学学長岡部洋一氏の講演も学習センター・英語倶楽部のご尽力により決定されました。

「埼玉フェスタ」は、学生が交流する場所として更に親交を深めるべき催もの等、今後の代表者会議で検討して参ります。

「学生新聞」は、若松編集長のもと学習センターからの学習に関する情報、サークルの情報、学生からの投稿などを隔月で発行しております。

前任岡里代表が提唱されておりました、埼玉学習センターと学生間のパイプ役に徹し、また居心地の良い「居場所」作りを実施して参ります。関係各位の更なるご支援・ご協力を賜りたくよろしくお願い致します。

公開講演会
「無縁化する社会をどう超えるか」

開催日時6月22日（土）14時～15時30分
会　場　埼玉学習センター8階講堂
講　師　宮本　みち子　放送大学教授
講演の内容　教育・労働・社会保障制度は社会経済変動のなかで機能不全が目立つようになりました。社会的に孤立する人々が急増している今、家族、会社に頼ってくらしを支えることができない時代をどう乗り越えるのかを考えたい。

オープンキャンパス

左記日程にてオープンキャンパス（学習相談を含む）を開催します。（在学生も参加できます）
開催日　6月29日（土）、7月13日（土）、8月10日（土）、8月18日（日）
時　間　いずれも14時～
内　容　大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、施設見学、個別相談など

学習相談

学習の方法、進め方、卒業研究、大学院進学など、修学上の諸問題について、本センターの教員が相談に応じます。希望者は、事前に事務室に備えてある「学習相談申込票」に記入の上、申し込んでください。

面接授業の追加登録

面接授業の追加登録は、空席があれば、原則として最初の開講日の1週間前まで受付しています。まだ空席のある科目もありますので、ご確認の上お申し込みください。なお、授業準備の都合上1週間前まで受け付けられない科目もありますので、ご注意ください。

学生募集

平成25年度2学期（10月入学）の学生募集が始まります。

出願期間は、6月15日（土）から8月31日（土）までです（インターネット出願は6月1日から）。皆さんの周りに放送大学に興味・関心のある方がおられましたら是非、ご紹介ください。紹介された方が入学した場合、薄謝を進呈いたします。

退任挨拶
埼玉ＣＳＣ交流会
前代表　岡里順子

4月13日開催の25年度埼玉ＣＳＣ交流会サークル・同窓会代表者会議で、新代表として嶋﨑洋明氏（未来の会代表）が、承認されました。

昨年5月の学生新聞に、24年度ＣＳＣ交流会代表として「学習センターと学生間のパイプ役として努めました」と挨拶しましたが、十分に果たす事ができなかったことをお詫びいたします。学習センターでお会いした折に、お声をかけて頂いたことは嬉しく、何よりも心強く感じました。

埼玉学習センター菅野所長、平野事務長、目黒係員、今福相談役をはじめとして関係役員の皆様にご支援を頂き、何とか一年間務めることができましたことを感謝いたします。ここに、皆様にお礼と退任のご挨拶を申し上げます。

通信指導の答案提出

通信指導の提出期限は、平成25年6月4日（火）本部必着です。忘れずに提出しましょう。

通信指導の答案を提出しないと単位認定試験が受けられなくなりますので注意してください。

探訪コーナー
香川学習センター

4月20・21日、香川学習センターに於いて、放送大学同窓会中国四国地区情報交換および交流会が開催された。鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の9同窓会のうち新設の島根を除く8同窓会の代表が参加した。これに同窓会連合会から会長、事務局長と共に、ブロック化担当として参加することになった。

一日目は、香川同窓会主催の卒業論文報告会や「より良い学生生活に求めるもの」と題した懇談会が行なわれ同窓会員・在学生と共に時間を延長して、白熱した議論が交わされた。二日目は中・四国の同窓会および連合会の情報交換会が行なわれ、各同窓会の活動状況や補助金についての説明、中・四国地区共同開催行事などについて話し合われた。

会場となった香川学習センターは、四国で最初にビデオ学習センターとして高松市に開設され、全国放送の開始に合わせて香川学習センターとなり、地域の拠点として二十年余の歴史を重ねている。現在、香川学習センターは香川大学との合築によりキャンパス内にそびえ立つ研究交流棟の7階8階に位置し、広い校内の駐車場を利用することの出来る数少ない学習センターとなっている。

入口からエレベーターで8階に昇ると、廊下の壁には山崎センター長ご自慢の荻原幹先生（元宇高連絡船船長・放送大学非常勤講師）の切り絵が飾られ、ギャラリーのような落ち着いた雰囲気がある。窓からは栗林公園、それに続く山々や瀬戸内海の島々を行き交う船などの眺望が広がっている。素晴らしい景観と共に、学習センターを愛する皆さんの気持ちが溢れている学習センターであった。

（森岡）

荻原先生の切り絵

インタビュー
大内和彦さん

全コースを卒業され、生涯学習奨励賞金剛賞を受賞された大内さんにお話を伺いました。

Q　放送大学に入学されたきっかけは。

A　平成13年4月に60歳で入学しました。48歳の時に患った脳梗塞による知的な面の損傷程度を確認するには、第三者による公平な評価が近道と考えたことが動機であり、退職と同時に入学しました。

Q　長く学習を続けることができた理由は。

A　2年の2学期頃から自信がつき、知識が広がることに快感を覚えるようになりました。技術畑出身で知識が専門分野に偏り過ぎ、物の見方が鋭角的になっていた反動と思われます。

知識を広げたいとする意欲が、長期間続ける力になったものと思います。

Q　在学中で印象に残っている出来事は。

A　若い人達と共に受けた面接授業は、思い出深いものの一つです。特に挙げれば某大学の先生が「本学は私語がない」と云われたことですが、学ぶ意欲を持つ人達の集りだからこそであり、教育の在り方を考えさせられるトピックでした。

Q　在学生に対するアドバイスがあれば。

A　時間的に許せるならば継続入学をお勧めします。効率を上げるには枠が必要と云われますが、学習も例外ではなく、学生という枠の中でこそ効率の良い学習が出来るものと信じています。

Q　今後の抱負は。

A　12年間お世話になりましたが、小学1年生が高校3年生になって卒業するまでの年数と同じであり、2度の学校生活をしたことになります。この間家族や周囲に迷惑を掛け続けたことでもあり、ここで区切りを付け、今後は自由な立場で学習を続けていく積りです。

学生手帳

「いじめ問題」
笹原誠二

いじめは「昔からあった」「どこにでもある」と言われている。確かに我々の子供の頃にもいじめらしきものはあったが、現在ほど深刻な問題にまでは発展しなかった。

自分の孫たちが幼稚園や小学校に通う頃になると、「あの子は大丈夫だろうか」とふと心配になったこともあるが、「毎日、楽しそうに、にこにこして出かけているよ」と娘から報告があると、ほっと安心する。

近頃の子供たちは、一人っ子が多く、仲間と一緒に行動すること自体が少なくなって、いじめに対する適応力も乏しく、自分の殻の中に閉じこもりがちになっているように感じる。学校や家庭また社会においても、「見ざる、聞かざる、言わざるの無関心状態」になっている可能性が高い。

いじめもシカト（無視）や仲間外れくらいならまだしも、精神的・肉体的ダメージや金銭的トラブルにまで発展すると解決までが大変となる。そういう状態になった場合には、本人たちだけではとても解決できないので、周りの人たちが「いじめが発生しているのではないか」という共通認識と問題意識を持って、解決に向けて積極的にアドバイスをしていくことが非常に大切になってくると考えられる。

投稿コーナー

世界遺産候補富士

荒川　良雄

何故［三保の松原］が除外されたか、環境保全に無関心な、日本の人々への重大な警告と受止める。万葉集に山部赤人の長歌に

《天地の　分かれし時ゆ　神さびて　高く貴き　駿河なる　富士の高嶺を――中略――語り継ぎ　言ひ継ぎ行くかも　富士の高嶺を》　とある。関東には「富士塚」がありまた　人々は「富士詣で」を楽しんだ。浮世絵では葛飾北斎の［富岳三十六景］が広く人びとに知られており、崇敬と敬愛の対象である。

家から外を眺めれば電線が空を覆う、外に出ると高圧線・高圧電柱が富士山の視界を遮る、それを邪魔と感じない意識の目覚めを促す勧告と思う。

世界遺産の発端になったエジプトの「アブ・シンベル神殿」救済にあたり、当時のフランス文化大臣アンドレ・マルローはユネスコの会議で「世界文明の第１頁を刻む芸術は分割できない我々の遺産である」との演説は世界遺産の理念を端的に表現している。

富士山は多くの日本人から愛されている、「富士山に美しい景観を」を旗印とする日本人の声の高まりの端緒になれば幸いである。

おわり

イコモスが［三保の松原］を除くことを条件に、富士山を世界文化遺産登録候補の勧告をしたことは、誠に嬉しいことである。地元県の有頂天ぶりをみると、ほほえましくも有り、また、将来生ずるであろう重荷を自覚しているであろうかと思う。目出度い話に水をさすようなことをと眉を、ひそめるムキも多いと思う。

ゴミの削減　（１）

１　レジ袋無料配布中止の取り組みについて
レジ袋削減促す平成21年6月1日川口市条例施行
レジ袋ゴミ削減、平成25年度60%目標を達成しようとするものだ。

２　地球温暖化、ゴミ減量対策と市民へは環境に優しいライフスタイル転換を目的に、レジ袋大幅削減を市民・事業者・関係団体・行政で構成した「レジ袋削減会議」で協議して協定締結したレジ袋無料配布中止の取り組みを実施している。取組内容は有料化、客辞退、ポイント付加、値引きなどタイプはさまざまであるがリーマン・ショックの不況での売り上げ対策で商圏内の事業者離脱があり足並みが揃わなかった。目標を80%とすれば有料化だろうが60%ではキャッシュバック方式で可能との見方で先進事例として見られていた。 ここで環境基本法に沿った市民の意識改革と持続可能な発展を期待したことだ。レジ袋は資源のムダ消費もある、生活社会空間に出て風で飛び交うゴミもある、電車架線に引掛かるとパンタグラフ故障電車不通等ライフラインの事故を誘発する、過剰な無償供給は意味がない。汚染者支払原則からすれば当事者は市民だろう、けっして商圏のスーパ企業の責任だけではない。客離れを警戒し不況時の売り上げを競う利益を追求優先のために足並みが揃わず離脱した企業は拡大生産者責任を問われるのだろうか、たしかに条例では違反過料、勧告命令公表罰則まである。行政は考えて条例策定し運用して、市民参加でマイバック持参の買い物作業を定着させて、レジ袋ゴミ削減目標60%を達成しようとするものであった。

３　川口市環境部の考え方
全国で年間300億枚消費されていて、１人当たり年間300枚使用する。市内では1億5390枚　10ｇ／枚として1,539ﾄﾝでレジ袋削減目標60%達成すると923ﾄﾝ CO2は429万6565kｇもの削減になると考えられる。大型レジ袋1枚は、原料と製造工程を含めて18.3ﾐﾘﾘｯﾄﾙの原油が必要で、このための全国年間の原油消費量は54万9000ｷﾛﾘｯﾄﾙになる。これは日本の１日当たりの輸入量65万4000ｷﾛﾘｯﾄﾙにほぼ近い量である。市民個人のレジ袋年間辞退数365枚では3650ｇで、ゴミとして3.6ｋｇ削減になる。原油にして6.7ﾘｯﾄﾙCO2で14.6kｇ排出削減になる。

４　埼玉県の動きは今のところ無い。
ポスタは県と市が連名だった。県内市町村で啓発活動は行っているが、レジ袋削減会議を実施しているとの情報は無い。県域や全国的規模での取組とならないだろうか。

５　平成21年川口市条例施行からの状況
レジ袋削減の目標60%達成事業所数８所
平成22年64～97%　平成23年61～96%
段階目標としている196所平均実績
21～22年16%　23年上期18.8%　23年下期21.8%
平成25年度目標60%としているが、各事業所の段階目標は5、10、15～40、50 % と様々である。
一部には-4%から最大-139%と増加の実績結果まである。

取組内容は、レジ袋有料化　キャッシュバッグ、声掛け、レジ袋不要カード　マイバッグ等無料配布　マイバッグ等販売　ポイント付与　ポスタ掲示　その他である。

近くのスーパは実績-6%から始まり実績41%　43%と推移している。Ｓスーパでは有料M2円、L3円で月の実績72.3%と掲示していた。

川口市域の平成25年度削減目標60%の成果については、市民そして学生としても、おおいに関心を持つものである。　（続く）

科学・社会担当　N生

細道あちらこちら　（五）

若松　豊

一つ家に遊女も寝たり萩と月

この一句は、旅の宿で遊女と行脚僧のような自分たちと全く境遇の違う者同士が同宿となり奇縁を感じた、折から庭の萩を月光が美しく照らしているとの意であろう。「萩」が遊女で「月」が芭蕉を指すという解釈もある。越中と越後の国境の町市振の宿で、芭蕉たちは新潟の遊女と同宿となる。彼女たちは、伊勢参りにゆく途中とのことで、芭蕉たちと同じコースを辿るらしい。翌朝心細いから一緒に連れて行ってほしいと哀願する彼女たちに対して、我々は途中とどまることが多いのでそれはできないと断るのである。前夜、一間隔てた面の方で、「日々の業因つたなし」と嘆いているのを聞いていた芭蕉は、同行を断ったが「哀れさしばらくやまざりけらし」と書いている。

このくだりは『おくのほそ道』中の名場面ではあるが、紀行文の中に色を添えた虚構の最たるものとも言われている。同行の曽良の日記には、「四月十二日・・・申の中尅、市振に着、宿。」「十三日市振立つ。・・・」と簡素に記すのみである。「市振」を「一振」と表記するのもなんとなく怪しいものである。

数年前の秋、金沢へ旅行した帰りに市振に寄ってみた。人通りも少ない鄙びた街である。町はずれに根元から二木に別れた大木の松があった。新潟方面かいていると、それはまさしく旅人に、ここが安全な市振の宿と知らせる目印であったとのことである。

芭蕉は、世俗を捨て、枯れた聖人君子のような人と誤解されることが多いが、それは必ずしも当たらない。妻と目される女性もいるし、俳諧（連句）の中には必ず恋の句を入れろと指導もしている。俳諧の作法から言えばこのあたりで恋句を登場させたいところと考えたのかもしれない。

市振見物の後、日が暮れて暗闇が迫る無人駅で、ひとり列車の到着を待っていると二人連れの女性が入ってきた。一人は柏崎から久しぶりに訪ねてきた友人と一人は帰る友人を駅まで送ってきた人らしかった。二人は友人の事や世間話を滔々と話している。聞くともなしにそれを聞いていると、それはまさしく「一振」の世界であった。ゆっくりとそんな妄想に浸ることができるのは、観光地でもない場所を一人旅する醍醐味である。

今年三月　金賞を頂いて

福田　暉

今年三月二十四日、生涯学習奨励賞金賞をいただきました。入学したのは平成三年（五一歳）「自然の理解」専攻でした。仕事が理工系だったので、理論的な裏付けが欲しかったのと広い教養を身につけたかったからです。

当時は、テレビがＵＨＦで、ラジオがＦＭで、電波の状況が悪く苦労しました。

どうにか四年で卒業でき、その後、十年のブランクがあり、その間に定年になり、また、勉強したくなり、「発達と教育」専攻に編入学しました。専門外なので苦労し、六年かかりました。

その後「生活と福祉」専攻、「社会と産業」専攻はそれぞれ二年で卒業でき、今年三月四つ目の専攻を卒業しました。

今年四月「人間と文化」専攻に編入学し、これを卒業したら、「情報」専攻に編入学するつもりです。六つの専攻を卒業したら何を頂けるのか楽しみです。

詩歌

俳句

水草生ふ母の在所のはるかなり　敏子
不揃いの益子の小鉢木の芽和　安代
蒼天や青き湖上を風光る　保子
風光る代々木公園走りけり　明美
早咲きの桜震はす夜の雨　由美
入学の頬輝かし風光る　規子
風光る柿落しの木挽町　八重子
船差の棹に落花のしきりなり　とく江
千曲川波の高さに風光る　光娥

（つみ草）

サークル案内

サークル　おおみや

6月12日（水曜日）
①上野文化会館に10時15分までに集合して、「モーニング・コンサート」
②昼食後、東京芸大「漱石の美術世界展」鑑賞
7月3日（水曜日）
放送大学・埼玉学習センターで、「オペラ鑑賞」9階に13時集合

江戸時代の古文書を読む会

6月勉強会、6月8日（土）第4講義室と6月15日（土）第5講義室で

囲碁同好会

毎週火曜日、午後1時

健康体操研究会

毒素排出！　新緑の季節になりました。健康体操で、気の流れを良くして、身体にたまった毒素を排出しましょう。毎週火曜日10時半から、8階講堂にて開催中です。

放送大学熟年会

定例勉強会
6月11日（火）「祭り談義」、7月9日（火）「日本の農業」
パソコン楽習会
毎週火曜日（第2火曜日を除く）
イベント
6月14日　防衛省見学

朗読の会「こころ」

6月13日（木）、6月27日（木）、7月11日（木）午後1時第3講義室

eーグル

パソコン同好会
金曜日午前中　専門講師

トレヴィの会

6月22日（土）
第36回短歌の会

埼玉同窓会

5月19日（日）第34回通常総会開催。平成25年度活動計画、森岡会長の留任等を決定した。

編集後記

風薫る5月爽やかな季節になりましたが、学習のほうは進んでいますか。

学生新聞次号の発行は7月中旬です。詩歌、随想など皆さんの投稿をお待ちしています。